

平成 29 年度 東京都内湾水生生物調査 5 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 29 年 5 月 12 日に鳥類調査を実施した。天気は晴、気温 26.0～27.2℃、東～南、風速 0.6～2.3m であった。当日は大潮で、潮位は 11 時 48 分 干潮(18cm)、18 時 22 分 満潮(185cm)であった(気象庁東京検潮所)。各地点の状況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	13:10-14:20	9:00-10:22	11:00-11:50
天候	晴	晴	晴
気温(℃)	27.2	26.0	26.6
風向	南	東	東
風速(m)	2.3	0.6	1.9
備考	干潟が広く干出し、水溜りが多くできていた。ヨシ原でオオヨシキリがさえずっていた。	引き潮で磯が広く干出していた。 海浜公園では、砂浜29人(散策、水遊び、撮影、ゴミ拾い、潮干狩り)、磯8人(散策)の利用者が見られた。	干潟は広く干出していた。 干潟では貝を採る人が5人(京浜島2人、森ヶ崎の鼻3人)見られた。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった鳥類上位2種	カワウ(378羽) ユリカモメ(63羽)	カワウ(605羽) キョウジョシギ(100羽)	コアジサシ(295羽) カワウ(46羽)
備考	・沖の干潟でハマシギ、カモメ類が休息。カワウ、サギ類が採餌。 ・干潟の汀線付近でミヤコドリが採餌。カワウ、サギ類、カモメ類が休息が休息。 ・干潟でシギ・チドリ類が採餌。 ・重要種として、14種を確認(ダイサギ、コサギ、バン、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、ミヤコドリ、チュウシャクシギ、ホウロクシギ、キアシシギ、イソシギ、トウネン、ハマシギ、コアジサシ)。	・第六台場では、カワウ、サギ類が繁殖。大きく成長したヒナを確認。 ・鳥の島ではカワウが繁殖、大きく成長したヒナを確認。 ・海浜公園側ではコアジサシが休息。 ・護岸や岩礁ではシギ・チドリ類が採餌。 ・重要種として、8種を確認(ダイサギ、コサギ、コチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、コアジサシ)。	・干潟や護岸ではシギ・チドリ類が採餌。 ・干潟ではカワウ、アオサギ、カモメ類が休息。コアジサシの求愛行動を確認。 ・水上ではコアジサシが採餌。 ・重要種として、11種を確認(ダイサギ、コサギ、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、ハマシギ、コアジサシ)。

●出現種と個体数

No.	目名	科名	種名	5月			重要種 選定基準					
				葛西人工渚			お台場 海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財 保護法	種の 保存法	環境省 RL2017 鳥類	東京都 RL2010 (区)
				範囲内	沖合	合計						
1	カモ	カモ	カルガモ	7		7	11	3				
2	カツオドリ	ウ	カワウ	318	60	378	605	46				
3	ペリカン	サギ	ゴイサギ				2					
4			アオサギ	3	2	5	49	7				
5			ダイサギ	7	13	20	3	1				VU
6			コサギ	1	3	4	24	3				VU
7	ツル	クイナ	バン	1		1						VU
8	チドリ	チドリ	コチドリ	1		1	1	2				VU
9			シロチドリ	1		1		3			VU	VU
10			メダイチドリ	4		4		4				NT
11		ミヤコドリ	ミヤコドリ	10	30	40						EN
12		シギ	チュウシャクシギ	4		4	3	11				VU
13			ホウロクシギ	1		1					VU	CR
14			キアシシギ	1		1	15	1				VU
15			イソシギ	1		1	1	2				VU
16			キョウジョシギ				100	13				VU
17			トウネン	11		11						NT
18			ハマシギ	17	10	27		1			NT	NT
19		カモメ	ユリカモメ		63	63		8				
20			ウミネコ		13	13	1	1				
21			セグロカモメ		3	3	2					
22			オオセグロカモメ	1	1	2						
			大型カモメ ^A		1	1						
23			コアジサシ	10	5	15	14	295		国際	VU	EN
24			アジサシ		12	12						
25	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ					1				
計6目9科25種				18種	12種 ^A	22種 ^A	14種	17種	0種	1種	4種	15種

※種の分類・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会,2012)に従った。

A: 大型カモメに分類されるセグロカモメ、オオセグロカモメが確認されているので「大型カモメ」は確認種数に数えない。

文化財保護法:

種の保存法: 国際: 国際希少野生動物植物

環境省レッドリスト: VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、DD: 情報不足

参照: http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html

環境省自然環境局野生生物課. 2017年. 環境省第4次レッドリスト.

東京都レッドリスト2010: CR: 絶滅危惧ⅠA類、EN: 絶滅危惧ⅠB類、VU: 絶滅危惧Ⅱ類、NT: 準絶滅危惧、留: 留意種

東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト～ 2010年版.

<葛西人工渚>

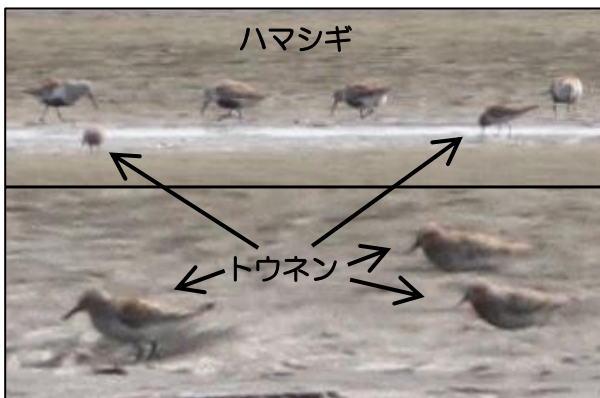
○調査地点の状況

干潟が広く干出し、水たまりが多かった。



○出現種(ホウロクシギ)

干潟で採餌していた。環境省レッドリスト(2012)では絶滅危惧 II 類(VU)、東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧 I 類(GR)に指定されている。春と秋の渡り期に見られる旅鳥で、カニ等の甲殻類やゴカイ類などを食べる。



○出現種(上:ハマシギ、下:トウネン)

群れで干潟で採餌していた。共に東京都レッドリスト(2010)では準絶滅危惧(NT)に指定されており、ハマシギは環境省レッドリスト(2012)でも準絶滅危惧(NT)に指定されている。春と秋の渡り期に見られる旅鳥で、ゴカイ、甲殻類などを食べる。トウネンは日本で見られるシギ類の中では小型の種である。

○干潟の利用状況

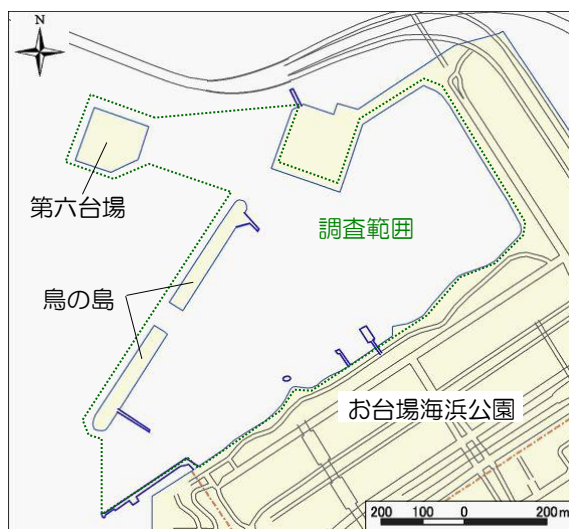
干潟の汀線付近ではカワウ、サギ類、カモメ類が休息していた。そのほかにミヤコドリが採餌していた。



<お台場海浜公園>

○調査地点の状況

鳥の島の樹木にはカワウの巣が見られた。



○出現種(カワウ)

第六台場、鳥の島ではカワウの繁殖が確認された。巣で抱卵・抱雛する親鳥、大小様々なヒナ、樹上や護岸、磯で休息する幼鳥が確認された。鳥の島では117個の巣が確認され、その約90%が繁殖に使われていた。



○出現種(アオサギ)

第六台場ではサギ類の繁殖が確認された。アオサギのヒナの多くは、大きなヒナであった。ひとつの巣では大きさの異なるヒナが確認された。サギ類は一日置きに産卵するため孵化日はずれ、先に孵化したヒナが餌を多く得るため、ヒナの成長に差が生じる。

○出現種(キョウジョシギ)

護岸や岩礁ではシギ・チドリ類(コチドリ、チュウシャクシギ、キアシシギ、キョウジョシギ)の採餌、休息が確認された。確認されたシギ・チドリ類のうち、キョウジョシギの個体数が最も多かった。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧II類(VU)に指定されている。春と秋の渡り期に見られる旅鳥で、甲殻類や貝類などを食べる。



＜森ヶ崎の鼻＞

○調査地点の状況

干潟が広く干出していた。



コアジサシ(休息)



求愛行動(左♀、右♂)



○出現種(コアジサシ)

水上で採餌、干潟で休息、求愛行動が確認された。森ヶ崎水再生センター屋上の人工営巣地では、5/13の時点で成鳥約250羽、巣約80個がNPO法人によって確認されている（NPO法人リトルターン・プロジェクト <http://d.hatena.ne.jp/littletern/20170513/1494657157>）。

○出現種(上:コチドリ、下:シロチドリ)

干潟で採餌、休息が確認された。共に東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧II類(VU)に指定されており、シロチドリは環境省レッドリスト(2012)でも絶滅危惧II類(VU)にも指定されている。森ヶ崎水再生センター屋上の人工営巣地で営巣が確認されている。



コチドリ



シロチドリ



チュウシャクシギ

○出現種(チュウシャクシギ)

護岸、干潟で採餌していた。東京都レッドリスト(2010)では絶滅危惧II類(VU)に指定されている。春と秋の渡り期に見られる旅鳥で、カニなどの甲殻類、ゴカイなどを食べる。

<その他>

○ウミネコの繁殖

平成 27 年度 6 月の調査で運河の構造物上でウミネコのヒナが確認され、繁殖が確認された。今季も繁殖している可能性が考えられたため、構造物の利用状況を確認したところ、複数の構造物上に抱卵中と思われるウミネコ成鳥が 20 羽確認された。巣の数は少なくとも、20 個あると考えられる。ウミネコの産卵数は 2 個が普通で、抱卵日数は 25～29 日である。

